

Title	表紙 目次
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾経済学会
Publication year	1954
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.47, No.8 (1954. 8)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19540801--001

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

三田學會雜誌

慶應義塾經濟學

八月號



經濟學關係文獻目錄
書評及び紹介

英連邦の統一についての覚え書(下)……………矢内原 勝(嬰)

資料

「過少消費説」克服のために……………常盤 政治(一)

恐慌の資本制的性格といわゆる

„Der Letzte Grund” についで……………常盤 政治(一)

家族計畫とその人口政策的意義……………寺尾 琢磨(一)

第四十七卷

第八號

MITA GAKKAI ZASSHI

(Mita Journal of Economics)

Vol. 47, No. 7

July, 1954

CONTENTS

	Page
A case study on the rationalization of management and its effects upon the labour relations ……………G. Mori (1)	
Material	
Problems on the Labour Consciousness—Research for the factories ……………Y. Aonuma (18)	
A Note on the Bond of the British Commonwealth …………… K. Yanaihara (35)	
A Fishery Village in the Early 18th Century through <i>Murameisaicho</i> ……………A. Hayami (51)	
Review and Note	

Published for
KEIO-GIJUKU KEIZAI GAKKAI

(The Keio Economic Society)

Editorial communications to be sent to
the Editor, Keio-Gijuku Keizai Gakkai,

Keio-Gijuku University,
Mita, Minato-ku, Tokyo, Japan.

Price 70 Yen net

書評及び紹介

山田雄三著 「日本經濟の計畫論的考察」	氣賀健三(六三)
翻澤作三著 「勞務管理論序説」—勞務管理の本質—	森五郎(六四)
ロイ・ハロッド 「ポーンド・スターリング」	白石孝(六六)
東銀調査部譯	高橋吉之助(六七)
和田木松太郎著 「豫算統制制度」	平野絢子(七〇)
石渡貞雄著 「農地改革の基本構造」	矢内原勝(七一)
ハーバート・フランケル 「未開發社會への經濟的接衝 —國際投資と社會變化に關する論文—	片岡一郎(七三)
リチャードR・ステイル 「シニアトル市食料雜貨卸商業の 死亡率に關する研究」	渡邊國廣(七六)
A・シャトラン 「勞働力と第十九世紀における鐵道敷設」	

家族計畫とその人口政策的意義

寺尾琢磨

この數年來、家族計畫という言葉が流行している。しかしそれが何を意味するかは豫想外に知られておらず、専門家の間でさへいろいろの解釋が行われているほどである。それは元來英語の Family Planning の譯語であるが、正直に言つて適當な表現とは思われない。いわゆる生活設計とか家庭合理化とかいつた言葉と紛らわしいからで、むしろ別の用語たる Planned Parenthood すなわち計畫出産の方がより適切と思われる。それはとにかくとして昨年九月「日本家族計畫連盟」が結成され、最近「國際家族計畫連盟」への加入も認められたので、來年秋にはわが國で國際大會を開催することになり、關係者はその準備にのり出した。しかし家族計畫の何たるかが一般に了解されないで、今後の活動も順調にはゆくまい。ことにわが國は異常な過剩人口をかかえ、その對策は焦眉の急である。終戦以來このため數多くの審議會や委員會が設けられたが、現在は人口問題研究會對策委員會と厚生省人口問題審議會の二つが、相互に連絡を保ちつつ各々研究を續けている。ところが家族計畫はこれから述べるように著しく人口制限的作